



製品一覧

蓄積した技術で あらゆる流体向けの管継手を供給

Takeda Works 株式会社

事業内容と沿革

さまざまな使用環境に 対応する管継手

流体搬送の現場で使われるロータリージョイント（回り継手）やスィベルジョイント（管継手）、ローディングアーム（可動配管）などの管継手を開発・製造する。ロータリージョイントは飲料をはじめ、製鉄や繊維、フィルムなどの生産装置に取り付け、回転する機器へ流体を漏らさずに注ぎ込む。スィベルジョイントは流体の流れる方向を任意に変える。ローディングアームは運搬車や船舶などに、流体を迅速に積み込むために使用する。いずれも流体が外部に漏れ出さないよう、過酷な使用環境にも耐えるシール技術を生かしたもの。温度や圧力、通過する流体の種類など、ユーザーによって条件はさまざま。蓄積した技術でユーザーの要望に応え続けている。粉碎器や分級機器などを製造する(株)増野製作所(東京都荒川区)のグループ会社。昭和23年に(株)増野製作所が液漏れを機械的にシールして防ぐ本格的なロータリージョイントを開発したのがルーツとなっている。以降、(株)増野製作所としてロータリージョイントなどを製造してきたが、平成9年に石岡工場(茨城県石岡市)の製造部門から接続管関連の事業を分社化。拠点を大阪府門真市に移転し、現在に至る。

強み

無菌充填機用 ロータリージョイントで信頼厚く

主力のロータリージョイントは、製鉄や繊維、フィルムなど、さまざまな製品の製造装置に取り付けられている。中でも、特に無菌充填機用のロータリージョイントは、原正和社長が「国内の飲料は、ほぼすべてが当社のロータリージョイントを通過していると考えてよい」と胸を張るほど飲料業界から厚い信頼を獲得している。食品衛生法や米国食品医薬品局(FDA)の規格を満たすように設計しており、製造現場の品質管理を徹底する流れにも対応している。ユーザーの製品に合わせ、液体のみの充填用と、炭酸飲料など液体と気体の同時充填に対応するロータリージョイントを提供している。飲料業界にとどまらず、注射薬の製造ラインなど、クリーンな環境下での充填が求められる現場で活躍している。ただ、国内の設備投資は減少傾向で、市場は縮小している。その環境下でも成長を続けるため、市場を海外に求めている。中国と韓国に現地法人を持ち、積極的に営業。アジアの新興国でも、高性能・高品質な同社のロータリージョイントが求められるようになってきている。企業内転勤で中国子会社との人材交流も活発に進め、いっそうの海外展開強化を視野に入れている。



本社工場内



ロータリージョイント使用風景



Takeda Works 本社社員集合

- 企画・提案
- 試作・受託
- 短納期対応
- 多品種少量
- 量産対応
- コスト相談
- オンラインワン
- 海外対応

カドマイスターの取り組み

歴史ある設計基準と 品質管理

(株)増野製作所時代の昭和23年から、すべての製品のデータを設計基準として「Takeda Design Standard (TDS)」として蓄積。そのボリュームは500ページ以上に及ぶ。寸法や機構はもちろん、使用する材料や部品なども細かく規定。無菌充填機用の製品は溶出試験の方法も定めている。ユーザーの要望は多種多様に変化しているが、事前に使用環境や流体性質などを聞き取り対応している。品質管理でもTDSと同等のファイル「Takeda Quality Control Management (TQCM)」を持つ。ISOなど外部基準も内包し、業務がもっとも合理的に管理できる基準としている。人材教育や安全対策、外注先企業の管理などを規定。品質管理の徹底が一般的ではなかった昭和37年から始まる歴史ある体制だ。合理性や妥当性を随時検討し、変更を加えて現在まで引き継がれている。

今後の展開

積極的に高機能製品の 海外市場を獲得

原社長は「市場のあるところに進出するのが企業の生き残る道。海外に出て行くことは中小企業こそしないといけない」と持論を展開する。高機能ロータリージョイントのユーザーである飲料メーカーによる国内設備投資は更新が中心と縮小傾向にあり、今後の大規模な設備投資は期待しにくい。中国の山東省には工場も持つ。今後、主要な市場が海外になることを踏まえ、中国工場の役割が大きくなる。現地ユーザーの声に応え、同工場で製造に加えてメンテナンスにも対応するようになった。現在は高度な部品を日本で生産して海外に送っているが、将来は海外での研究開発も視野に入れている。一方、日本国内では港など屋外で使用するローディングアームを安定生産する役割を果たしたいと考えている。現在のシェアは高くないが、災害など緊急時には早急な復旧に貢献できるように、供給できる体制を維持する方針を掲げる。

長年蓄積したノウハウで
安全・安心な高品質製品を製造



代表取締役
原正和さん

ロータリージョイントのバイオニアとして、昭和23年以来蓄積しているノウハウでユーザーの高度な要求を満たし続けています。低温から高温、真空から高圧、回転速度といった使用環境や、スチームや飲料、薬品など内部の流体など多様な条件に対応します。構造設計やシール形式など設計の工夫と、過酷な使用条件に耐える適切な材料の選定でニーズを実現。産業機械の高性能化、小型化にも合わせた製品を供給して世界の市場を獲得しています。

主な事業内容

回転可動屈折管継手の開発・製造・販売

主な取引先(納入先)

食品・医療から化学薬材、製鉄まで
ほぼすべての産業

【住 所】〒571-0017 大阪府門真市四宮5-1-1
【T E L】072-882-8833
【F A X】072-882-8836
【創 業】平成21年7月 【設 立】平成21年6月
【資本金】3,000万円 【従業員】60名

<http://www.takedaworks.co.jp>

